

平成28年 8月 3日

## 平成28年7月31日上川地方大雨に伴う しろがねダム（美瑛町）のりめん法面の表層の一部流出について

平成28年7月31日の上川地方大雨に伴い、しろがねダムの下流法面の表層の一部が流出したところですが、現在までの対応状況についてお知らせいたします。

### 1 ダムの概要

- 1) 位置：美瑛町白金
- 2) 河川：石狩川水系美瑛川支流オヤウンナイ川
- 3) ダム形式：中心遮水ゾーン型フィルダム
- 4) 管理受託者：美瑛町

### 2 経過

- ・ 7月31日（日）、美瑛町にて局所的な豪雨が発生。（ダム地点における13時～17時の累計で173mm）
- ・ 8月1日（月）、美瑛町職員が、ダムの安全確認を実施中にダム堤体下流側の法面の表層の一部が流出しているのを確認。

### 3 現在の状況

- ・ 現地では、旭川開発建設部の職員と美瑛町のダム運用担当職員がダム水位等を常時監視。
- ・ 8月2日（火）10時30分から、現地で国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所、河川管理者により臨時の点検を実施。この結果、浸透性の破壊ではなく、通常を上回る強度の降雨が原因と推定。応急対策として被災箇所を雨水から保護するため、ダム下流の被災箇所はブルーシートによる養生を実施している。なお、漏水量の観測値に異常はなくダム本体に異常は認められない。

### 4 今後の対応

監視・観測体制を強化・継続するとともに、復旧に向けて検討している。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

農業整備課長 武下 和幸（0166-32-0953）

広報官 小林 智也（0166-32-3097）

## 【参考】

平成 28 年 7 月 31 日上川地方大雨に伴う  
しろがねダム（美瑛町）法面の表層の一部流出について



被災箇所の全景